

入居企業紹介 その78

SICに入居されている企業をご紹介します。

SIC-1 306

株式会社カイゼン・マイスター

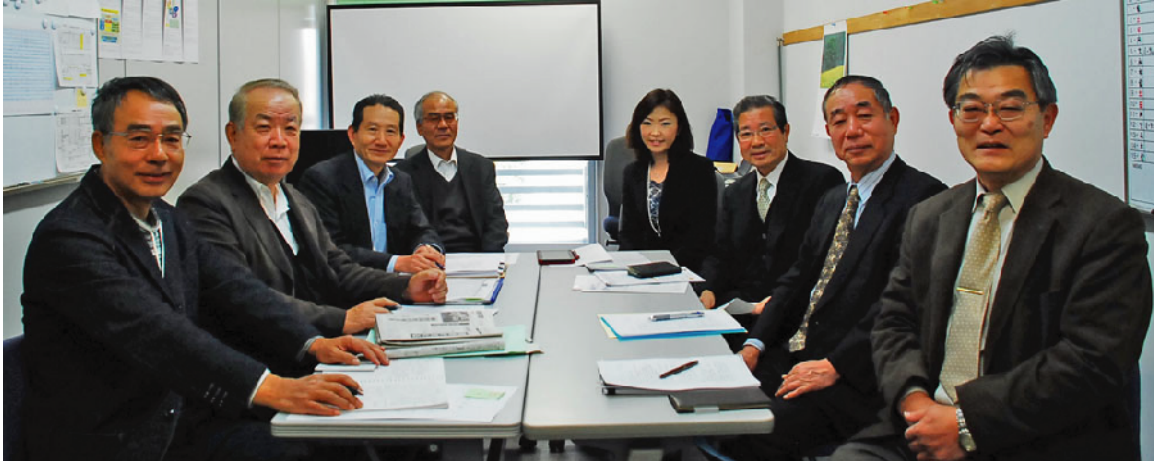
メンバー紹介
(8人の侍+1)
左側奥から

総務部長
佐藤 栄二さん

取締役
早川 英徳さん

取締役
石川 信さん

チーフ・アドバイザー
志貴 正尚さん



右側奥から

インターンシップ
黒須 香織さん

取締役
鈴木 利治さん

代表取締役
小森 治さん

取締役
葛西 邦策さん

※撮影当日は
顧問の石坂 芳男さんは
所用でご不在でした。

【代表プロフィール】

株式会社 カイゼン・マイスター

代表取締役社長 小森 治 (こもり おさむ)さん

1964年トヨタ自動車株式会社入社後、購買部門(部品・設備・仕入先支援)をスタートにトヨタの海外工場(欧州・豪州・アジア)に延べ16年駐在。その間に国内、海外のメーカー数百社を訪問。

トヨタ英国製造副社長・トヨタオーストラリア社長などを歴任後、相模原市のセントラル自動車(トヨタの生産子会社)社長に就任。同社退任後OBの仲間と共に(株)カイゼン・マイスターを設立。

中小企業診断士・法政大学大学院客員教授を経て今年からシニアアドバイザーとして、同大学院MBA特別コース(中小企業診断士養成課程)等での支援を実施。

精神年齢は30代の70歳で趣味はゴルフと旅行。

【起業しようと思ったきっかけは?】

2006年新銀行東京の要請により取引先とのリレーションサービスの一環として、トヨタ生産方式に基づいたカイゼン指導を開始したのが中小企業向けのカイゼン支援サービスのきっかけです。その後多くの金融機関から同サービスの提供依頼があったので2007年11月会社を設立しました。現在は全国14の金融機関等と業務提携をしております。

株式会社カイゼンマイスターは、トヨタ生産方式に基づく現場カイゼン支援活動を行うコンサルタント会社です。メンバーは、相模原市に本社のあったセントラル自動車(2011年に宮城県へ移転)のOBで、全員がトヨタ生産方式を体得し、経験年数はいずれも40年を超える「カイゼンマイスター」です。

第一線を退いた後も奉仕と社会貢献を念頭に置き、様々な培った技術と経験を生かして、中小企業のよき相談相手となることを目指してまいります。

【事業紹介】

- ①生産工程の合理化支援
- ②在庫管理及び物流カイゼン支援
- ③教育訓練に関する支援・その他

カイゼンとは、一言で表すと「徹底的なムダの排除を通じて、原価低減を実現する活動」のことです。例えば、工場内におけるムダややりにくい原因となっている事柄などを見直すことで、生産性の向上を

目指します。「モノづくり」は「人づくり」です。「人づくり」を通じてQ「品質」C「原価」とD「納期」のカイゼンを図ります。

トヨタ生産方式は、業種の壁、規模の大小を越えて、中小企業に多い多品種少量生産に適しており、弊社はこれまで、北は青森から南は鹿児島にかけて、従業員数名の小規模企業から数百人の中規模企業までが大多数ですが、中には数千人の大企業まで含めて累計100社以上に、幅広く改善支援を実施しています。業種も製造業だけでなく農林水産関係、病院などのサービス業にも及んでいます。

【課題となっていること、苦労していること】

今まで各地の金融機関・人材育成会社等との提携をしてきましたが、さらに税理士会計事務所・社会保険労務士さん等の異分野のコンサルタントとの連携も拡大してトータルな中小企業支援のネットワークを拡大したい。

【これからの夢または目標は?】

私たちカイゼンマイスターは、奉仕と社会貢献を念頭に置きながら、様々な技術と経験を生かして中小企業のよき相談相手となることを目指しています。シニアによる起業のモデルとして、団塊の世代の人たちの参考になればと思っています。

株式会社カイゼン・マイスター

SIC-1 306号室

TEL 042-730-7891 /FAX 042-730-7892

e-mail: osamu_komori@ybb.ne.jp

http://members3.jcom.home.ne.jp/0450781301/

さがみはら産業創造センター(SIC)は、2008年に業務提携を交わし、地元相模原市内の中小企業に対して個別コンサルティングや自主研究会などの「カイゼン支援活動」を行っていただいております。

「カイゼン」は今や「KAIZEN」と称されるほど、世界的な普通名詞になっています。世界に冠たるトヨタ方式のカイゼン活動。そのエキスパートの方々が、地元相模原の中小企業へ「恩返し」の精神で情熱を注がれており、SICとしても頼もしい限りです。



入居企業トピックス

●今月の掲載記事紹介

3月の新聞紙上に掲載された企業をご紹介します。ご紹介する記事は、SIC-1と2に掲示していますので、どうぞご覧ください。

3月7日(月) **株式会社ボード・プランニング**
 神奈川新聞 ビジネスウオッチに掲載
 ”培ったノウハウと最新技術でサポート”

8日(火) **株式会社 共立**
 神奈川新聞 大手OB受け入れ 営業力強化へ

20日(日) **株式会社 TSLソリューションズ**
 相模経済新聞 さがみのフロンティアに紹介されました。
 「ライフプランになかった起業で”本流”の研究分野に復帰」

入居企業の皆様へご案内

4月の販売予定日 in SIC

くるまかふえ **Sky Days**

<http://skydays.net>

*** 今月は、お休みです。 ***

パン・飲み物ともに
なくなり次第終了です。



ベーグルショップ **米来**

<http://www.bgr-shop.jp/>

飲み物
はじめました。

6日(水)
12日(火)
19日(火)
26日(火)

営業時間 12:00 ~ 18:00

SIC トピックス

「相模原市新卒等未就職者等人材育成事業」 企業向け説明会&個別相談会開催のご案内

- 相模原市委託事業 受託事業者：株式会社パソナ -

本事業は、相模原市内の企業への就職を希望する若者を中心とした求職者に約一ヶ月間、ビジネスマナー研修・PCスキル研修・ビジネススキル研修などを実施し、汎用性のある社会人としての基礎力および自立的・自発的に行動できる実践力を身に付けた人材を育成します。研修後、就業実習として約3ヶ月間相模原市内の地域企業様のもとに実際に就業し就業体験を積むとともに直接雇用へつなげることを目的とした事業です。

- ◎若手人材を確保できます。
- ◎採用コスト・時間を削減できます。
- ◎採用ミスマッチを防ぐことができます。

就業実習受け入れを行っていただける企業を募集します。

■日時：平成23年5月11日(水) 15時~17時

■場所：SIC-2 大会議室

■お問い合わせ先：

株式会社パソナ 担当：永門 (Tel.0120-232-134) 又は
SIC 担当 上野 (内線2003) まで

2011 SIC 経営塾 塾生募集!

★おかげさまで経営塾は10年目を迎えます。

今年度塾生の募集を開始いたしました。

開催日時：平成23年6月~平成24年2月

募集人員：15名

対象：経営者または経営幹部

受講料：178,500円(消費税込み・1泊2日の合宿費用を含む)

※受講料の割引制度があります。

詳しくは、担当(飯山 内線1100)までお問い合わせください。

詳しくは、SIC ホームページをご覧ください。



2011年4月

【今月の経営スケジュール(3月期決算の会社参考)】

米来さんが来る日

経理：3月源泉税・税務署より源泉税額表の送付、決算準備、給与計算・試算表作成

税務：給与支払報告に係る異動届出(随時)

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1 会議室6月分 予約受付開始	2
3	4 *SIC-1 エレベーター点検	5	6	7	8	9
10	11 SIC-2 フィルター清掃	12 SIC-2 ガラス清掃	13 SIC-1 自動ドア保守点検	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 インターン 募集説明会	25	26 SIC-2 共用部床面清掃	27	28	29 昭和の日	30

* エレベーター点検 SIC-1 9:30~11:00の間はご利用になれません。 お問い合わせは 生井(内線1116)まで

「緊急非常事態」

この度の「東日本大震災」で、被災された方々に対し、心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い被災地の復旧を心よりお祈り申し上げます。

この度の巨大地震と巨大津波は、その規模の大きさと被災された地域の広さ、被害の大きさに発する言葉がありません。報道される画像を見るたびに、胸が苦しくなります。一方で、経済活動への影響も、甚大です。報道されている情報や企業の皆様からの情報でも、被害規模の広がり、とても深刻です。更に、「計画停電」が、ダメージを増加させているようです。経営者の皆様にとって、この緊急非常事態をどのように乗り越えていくのか、企業経営の舵取りをどのようにしていくのか、とても大きな課題です。

そこで、BCP（事業継続計画：Business Continuity Plan）をご紹介します。

「BCP（事業継続計画）とは、企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のことです。」（中小企業庁）

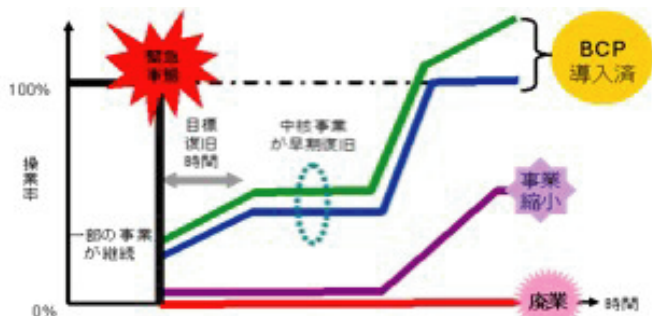
「BCPを策定することにより、企業が重要業務（中核業務）を中断せずに、あるいは中断しても目標復旧時間内に重要業務を再開することで、顧客の他社流出やマーケットシェアの低下防止が図られます。①取引先や市場からの評価の向上 ②企業価値の向上 ③企業の社会的責任への貢献 ④変化に強い企業体質への変革 ⑤事業の見直しの促進 ⑥雇用の確保など」

「もちろん、事前に耐震補強等を行うことにより人的被害も回避できます。」（神奈川県商工労働局産業部）

BCPの考え方は、まさに緊急時の対応・対策を組み立てる指針です。

「なんだ、後出し情報じゃないか」「もっと早く教えてくれれば」、また「そんな計画作る時間なんてないよ」とお叱りを受けるかと思います。しかし、いま緊急にBCP計画を策定することをお勧めしている訳ではありません。「二次災害を防ぐ意味から実効性があるのではないか」、「備え・準備は、必要です。」と言う事をお伝えしたいのです。詳細は、下記のHPで、是非ご確認ください。記入例や書式もありますので、必要に応じて、使用されるのも良いかも知れません。

<企業の事業復旧に対するBCP導入効果のイメージ>



(参考)

中小企業庁 中小企業BCP策定運用指針

<http://www.chusho.meti.go.jp/bcp/index.html>

神奈川県商工労働局産業部産業活性課

「BCP（事業継続計画）作成のすすめ」

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/sangyo/bcp/index.html>

日本商工会議所 BCP（事業継続計画）

<http://www.jcci.or.jp/bcp/>

わたしの居場所

「居場所は、自分でつくれ。」いつも、自分に言い聞かせている言葉です。自らつくれる居場所は、家族、職場、親戚、友人、地域など人との関係があるいたるところにあります。そこで、自らが必要とされる存在になるため努力することが大事だと思っています。

別に心が落ち着ける場所としての居場所も持っています。それは、36歳の時、父が亡くなり、見つけた二つの居場所です。

父が亡くなり、直ぐに様々な困難に押しつぶされそうになりました。若いころから溪流釣りが好きな私でしたが、この一年間は、毎週、丹沢の山に溪流釣りに行きました。最初は、逃げる居場所が欲しかったのかも知れません。

しかし、毎回、自然の中で一人無心に釣りをしていると不思議にもう一人の冷静なゆりのある自分と出会うことができました。あの丹沢の溪がなければ、あのときのプレッシャーに負けていたかもしれません。

もう一つの居場所は、父の後を継いでやっている米づくりの田んぼです。居場所と気づいたのは、夏の日差しの中、農作業をしている自分が幼いころ見ていた父の働く姿に重なった時でした。幼いころは、何をしているかわからなかった父の姿が、今は「何を、なぜしているのか。」はっきり解りました。父の姿に重なる自分、きっと父もまた祖父の姿に重なったであろうと

どんな人ですか？ SIC スタッフ編

今月のスタッフ【稲垣 英孝】

思ったこのときから、この場所は、父や祖父に会え、共に変わらぬ風景を眺めることができる大切な居場所となりました。

これからも、居場所をつくり、居場所に出会い、居場所を大切にしていきたいと思います。



座間のたんぼ



秋の収穫



冬の収穫



収穫：山女と岩魚



箒川で娘と釣り。

(次回は、荻島 穂浪です。)

東北地方太平洋沖地震の影響による 経営総合相談窓口設置のお知らせ

震災や計画停電の影響により、取引の停止や原材料の高騰など操業環境の悪化や、営業時間の短縮等による売上高の減少などの理由により、資金調達や取引先の紹介などが必要な事業主の方を対象に、市内の支援機関に相談窓口が設置されました。

経営総合相談窓口

相模原商工会議所	042-753-8135
城山商工会	042-782-3338
津久井商工会	042-784-1744
相模湖商工会	042-684-3347
藤野商工会	042-687-2138
相模原市産業振興財団	042-759-5600

その他の相談・問い合わせ窓口

★雇用調整助成金に関する相談窓口

休業を余儀なくされ従業員に休業手当を支払う事業主の方に対する助成金相談（最近3カ月間の売上高等がその直前の3カ月又は前年同期と比べ5%以上減少している雇用保険加入事業主が対象。）

ハローワーク相模原 042-776-8609

*神奈川県労働局のHPをご参照ください。

★資金繰りに関する相談窓口

資金繰りの悪化による新たな借入や返済猶予に関する相談
神奈川県信用保証協会 相模原支所

042-752-0575

★計画停電に関するお問い合わせ窓口

計画停電のグループ分けや実施状況に関する問い合わせ
(株)東京電力 0120-925-433

*24時間受付 土日祝日含む

相模原市役所 公共建築課 042-769-9817

【お問合せ先】

相模原市役所 産業・雇用政策課

042-769-8237

商業観光課 042-769-9255

当お知らせは、SICのホームページ「お役立ち情報」にも掲載しています。SICでは、随時ご相談を受付けていますので、スタッフまでご相談ください。

SICのホームページをリニューアルしました。 <http://www.sic-sagamihara.jp/>



今月、SICのホームページをリニューアルいたしました。企業の皆様のお役に立つ情報を掲載し、また、皆さんの役に立つホームページでありたいと願っています。これからも、内容を充実させるべく、まだまだ作り込んでいきますので、ご期待下さい。

尚、「入居されている皆様へ」と「会議室予約状況」のページについては、5月稼働予定です。

山本のめし屋レポート

麺や「菜かむら」

前回に続き、SICと橋本駅を結ぶゾーンにあるお店の紹介です。残業した帰りに暖かいものが食べたくなり、一人でちょっと寄ってみました。今回は奮発して、白ねぎをトッピングしたチャーシュー麺。1,000円と値段は張りますが、たっぷりの白ねぎとチャーシュー麺の組み合わせは絶妙です。実はこの店の味噌ラーメンの大ファンで、この店で味噌ラーメン以外を食べたのは久々でしたが「白ねぎ+チャーシュー麺」も癖になりそうな味です。



■住所 〒252-0131 相模原市緑区橋本2-8-12 ■Tel.042-773-8855 ■営業時間：平日 11:30～14:30 18:00～22:00
(日曜・祝祭日：11:30～15:00 18:00～20:00 ■定休日：月曜日、第三日曜日)

編集後記

今月号も発行が遅れてしまいましたが、盛り沢山の情報をご案内させていただきました。実は、恒例のSICアントレ・インターンシップの学生募集を開始していますが、本紙面上に掲載することが出来ませんでした。忘れて訳ではありません。今年も学生達のひと足先に社会人！SICのアントレ・インターンがやってきます！是非、お知り合いの学生さんにお勧め下さい。詳しくは新HPで。 萩島

★ご意見・ご感想をお待ちしています。(株)さがみはら産業創造センター(SIC) 〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077 ホームページ: <http://www.sic-sagamihara.jp> E-mail: koho@sic-sagamihara.jp